

Library News!



新緑の美しい季節になりました。

すがすがしい季節ですね。勉強、部活と忙しい毎日ですが、ぜひ本を読む時間を大切にして下さい。心にほんの少しだけ、ゆとりが生まれるかもしれませんよ。何を讀もうかな?と思ったら、図書館へ!

平成が終わり、令和がスタート。

平成って、どんな時代だったでしょう?新聞各紙には、平成を振り返る特集記事が多く見られました。

図書館内には、歴代の元号、天皇の一覧や、平成を振り返るクイズなどを掲示しています。平成に活躍したスポーツ選手の本もありますよ。

ぜひ、手に取ってみてください。



リクエスト受付中!!

「図書館に、あの本を入れてほしい」と思っているあなた!ぜひ、リクエストして下さい。

用紙に、リクエストする本の題名、著者名、そして必ず自分の名前を記入の上、カウンターのリクエストボックスに入れて下さい。

すべてのリクエストにお応えできるとは限りませんが、検討し、ご連絡します。



☐本は新しい自分への扉☐

みんなが知りたい、アレ!

本屋大賞2019

『そして、バトンは』

渡された』

瀬尾まいこ/著



本屋大賞って?



全国書店員が「いちばん売りたい本」として選んだ本です。

今年度、大賞のほかにこんな本がノミネートされました。

血の繋がらない親の間をリレーされ、四回も名字が変わった森宮優子、十七歳。だが、彼女はいつも愛されていた。身近な人が愛おしくなる、著者会心の感動作。

瀬尾まいこって、どんな作家?

大阪生まれ、奈良育ち。中学校教師の経験もあり、1年国語『花曇りの向こう』の作者です。『幸福な食卓』『あと少し、もう少し』など。賞をもらうと、5歳の娘さんが家で授賞式をしてくれるのが何より嬉しい、とのこと。

- 『ひと』小野寺史宜
- 『ベルリンは晴れているか』深緑野分
- 『熱帯』森見登美彦
- 『ある男』平野啓一郎
- 『さざなみのよる』木皿泉
- 『愛なき世界』三浦しをん
- 『ひとつむぎの手』知念実希人
- 『火のないところに煙は』芦沢央
- 『フーガはユーガ』伊坂幸太郎



これらの本は、近日中に図書館に入ります。おたのしみに!

この本、どうでしょう?

『走れ!』

『校バスケット部』



松崎洋 / 著

中学でバスケット部キャプテンとして活躍した陽一は、高校入学後、激しいいじめに遭い…。個性的な仲間と共に、弱小バスケット部を背負っていきます。映画化されました。

『乗り越える力』

荒川静香/著

2008年トリノ五輪金メダリスト荒川静香さんの自伝。フィギュアスケータの彼女が中学生の頃に抱いた夢は、なんと「普通の人になること」。彼女の等身大の力は、何を乗り越えたのでしょうか?

『真夜中のパン屋さん』



大沼紀子/著

都会の片隅で真夜中に営業するパン屋さん。居候の女子高生希実が事件に出会い、店に関わる人々の意外な面が明らかに…。読み進めるうちに平面が立体になるような面白さがあります。